

ゆう ☆ さぼ 通信



2021年12月
NO.42

〒610-0117 京都府城陽市枇杷庄島ノ宮80-127
TEL:0774(26)3007 FAX:0774(26)8182
E-mail yusapo@me.com

ホームページ 【ゆうさぼ】で検索！
そらいろブログ QRコードを読み取り→



去る7月、約1年半ぶりに「そらいろ勉強会」を開催することができました。場所は文化パルク城陽西館3階の会議室、講師は当法人監事にしてヘルパー、同志社大学社会学部社会福祉学科教授の廣野俊輔さんです。そらいろの参加のもと、



は、他事業所スタッフにも関わっていたいただきました。そらいろスタッフ2名（実行委員）は事務所にアクリル板を立てて講師を招き、他事業所スタッフはZOOMで繋いで打ち合わせをしました。結果、当日の開催形態も基本会場での参加としながらも、そこにZOOM

「歴史から考える支援者の役割」と題して、講義いただきました。戦前戦後の障がい者福祉の黎明期から、入所施設やコロニーが沢山作られた時代、そして地域の只中で当事者が生きようとした時代、それらを振り返って、どう考えるかといった内容でした。

の事前の打ち合わせに、Mを繋いで参加できる形にしました。会場参加は12名予定でしたが、会場は30名定員の2部屋を繋げて借りて、参加者の距離が取れるように配慮しました。窓を開けた状態で空調を効かせ、受付で検温、手指消毒、問診票の記入という感染対策を行いました。

今回の勉強会は特色ある近隣3事業所の参加がありました。そらいろと同じような知的障がいの方が主な対象ですが、通所、短期入所、放課後等デイサービスを運営しつつ重度心身障がいの方の支援に力を入れている事業所（医療的ケアを行っている）で感染させるリスクに敏感でないといけなかったためZOOMでの参加でした。

そらいろ勉強会を開催しました



対面とオンラインの併用です！

方と広く対象にされているヘルパー事業所。学びの時間を共にすることで地域での繋がりが深まります。例えばコロナ禍となり、長らく研修や勉強会ができない、受けられない状況が続いていました。支援者としても個人的に「なんだかリズムのないのっぺりとした支援の毎日が続いた」という感触でした。講義中、立ち止まって考えてみるこの大切さが言われました。が、支援の毎日の中で研修はそんなリフレッシュの時間でもありません。また少しづつでもコロナ前のようになり、勉強会やイベントなどが復活していけるといいなと思います。（秋篠）

法人設立10周年

今年の11月22日（いい夫婦の日）は、設立から10年となる節目の日となりました。10年前に右も左も分からずに立ち上げた法人が、ここまで続けてこれたのは法人会員や利用者の皆様、地域の方々の支えがあったからだと思います。本当に感謝です。これからも城陽市枇杷庄島ノ宮の地域に根を下ろして地道に頑張っていくだけです。

節目の10年を振り返ると、色々なことがありました。地域の入所施設で暮らす障がいがある方の外出支援を行うために制度外のサービスの立ち上げと寄付募集事業を始めました。ヘルパー支援事業だけでなく、相談支援事業の立ち上げも行いましたが、相談員不足もあり苦戦しています。地域の他事業所を巻き込んだ勉強会や交流会も実施しました。全てが順調という訳ではないですが、事業を継続できています。中心事業を支えてくれているヘルパー職員あってのことです。

次の10年も今までと変わらぬ歩みが続けられれば良いなと思っています。新規事業・事業拡大ということは考えておらず、足元を見ながら着実に支援業務を続けていければ良いなと考えています。（中野）



支えて下さり ありがとうございます

正会員：13名 32口
賛助会員：12名 21.5口

(2021年11月30日現在)

【寄付金】
五千円（廣野様）

【寄贈品】
除菌ウェットティッシュ（安岡様）

(2021年8月1日～2021年11月30日)

賛助会員 募集

年会費 1口 2000円

(団体の方は2口以上でお願いします)

【郵便局から振込】

銀行 ゆうちょ銀行
記号 14410
口座番号 17731231
名義 トクヒユウ サポート

【郵便局以外の金融機関からの振込】

店名 四四八
店番 448
預金種目 普通預金
口座番号 1773123

振込をして下さる方は、お手数ですが下記連絡先まで連絡して下さい。お名前・ご住所などを聞かせていただきます。

特定非営利活動法人ゆう・さぼーと
0774(26)3007
中野裕介

新しい事務所



現在の事務所から徒歩1分の場所に新しい拠点を持つ事になりました。スタッフ数が増え、事務や会議、面談、来客対応などのスペースに限界が出てきましたので、まずは事務所機能を移転する事を考えています。事業内容や規模は変わらず、ニヶ所の事務所を活用していきます。（中野）

入所施設で暮らす方々へ

ガイドヘルプを届けたい!

私費サービス利用料負担の軽減にお力を下さい

下記の口座から寄付していただくことができます。

【銀行振込】

京都信用金庫 本店(普) 2144120
公益財団法人京都地域創造基金

【郵便振替】

00930-4-312262
京都地域創造基金寄付口座
(通信欄に『ゆう・さぼーと』と記載)

編集後記
新型コロナウイルス感染が始まり1年半以上が経ちました。第五波と言われる感染拡大が収まった後は感染者数が減っているようです。このまま収束してくれることを願います。長く続くコロナ禍で失っていた活動を取り戻していくことが、今年度の年間テーマ『再出発』の意味するところですね。今年度は法人設立10周年になります。コロナ禍に関わらず、記念式典みたいなことを行う予定はありませんでしたが、一つの節目を喜んでいきます。無心に走ってきた10年を振り返りながら、次の10年を見据えた事業を展開していきたいと思っています。今号で新しい事務所について触れています。現在の事務所の近くで良い物件に出会うことができませんでした。スタッフの数が増え、10年分の書類や荷物も増えました。利用者の過ごし、事務、会議、来客対応などを一つの場所で行うことへの限界を感じ新しい場所に至りました。今後も変わらず現状の事業を続けていきたいと思えます。一人一人に合わせたオーダーメイドの支援を継続していくことが何よりも大切なことだと思っています。歩んできた道が間違っていないと信じて、地道に続けていくのみですね。（中野）